

東日本大震災より1年が経過しました。改めて亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げ、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。



Rainbow Times

平成24年度研修のご案内

平成24年度は約25本の研修を開催します。その中で、改称・再編・新規研修をご案内します！

☆地域虐待対応研修企画者養成研修【6月5日(火)～8日(金)】

要対協を中心に、地域で研修を企画・実施する方を対象にした研修です。来年度より、研修の名称を「研修指導者→研修企画者」に変更し、研修企画者を対象としたより実践的なプログラムを計画しております。

★テーマ別研修

センターでは、毎年様々なテーマを掲げて研修を行っています。参加対象の機関は特定しておりませんが、児童虐待対応経験年数(施設経験含む)が通算1年以上の方を対象とさせていただきます。来年度は以下の2本です。なお、定員拡大のため、グループ討議や交流会は実施しないことといたしました。

♪「子どもの性と暴力」【5月29日(火)～30日(水)】暴力の本質、暴力と性の関連、また支援者による虐待など、講義やシンポジウムを通して、人間の根本的な衝動である「性と暴力」について考えるプログラムを計画しております。

♪「家族への支援」【3月6日(水)～8日(金)】これまで何度か家族支援についてテーマ別研修を設けましたが毎回人気が高く、参加希望が多い状況です。来年度は、ステップファミリーや貧困など様々な角度から家族を理解するほか、母子臨床や世代間連鎖を断ち切るための治療的アプローチについても触れるプログラムとなっております。

☆市区町村虐待対応指導者研修【12月18日(火)～20日(木)】来年度新設！

市区町村や要対協において指導的立場にあり、児童虐待対応経験通算3年以上の方を対象に、センターで研修を行います。子どもと家族のアセスメント、妊娠期からの支援、要対協の連携など、地域で家族を支援するための必要なテーマを盛り込みました。

★毎年地域に出向いて行う「地域虐待対応合同アドバンス研修」は、＜青森7月24日(火)～25日(水)＞＜島根10月18日(木)～19日(金)＞で行います！来年度より、児童虐待対応経験通算1年以上の方を対象とさせていただきます。

◆なお、平成24年度の研修一覧はHPにアップしておりますのでぜひご覧ください◆



各国の原発・震災関連イベント

震災後一年がたち、日本の各地で様々なイベントが行われました。世界でも東日本大震災への注目度は高く、イベントがたくさん行われています。どんな活動が行われたのか、いくつかピックアップしてご紹介します。

◆6万人の鎖：原発反対デモ (France)◆フランスの南東部にある原子力発電所の周囲では3月11日、過去最大規模となるデモが行われました。主催者によると参加者は6万人ほど。日本のニュースには、多くの人が家族で参加している姿が映りました。電力の75%を原子力で補っているフランスでも、日本の震災の影響を受け、原子力発電所を減らす動きが活発になっているようです。



Le Figaro.fr 3月11日より

◆Winds for Hope - Tomodachi Through Music (Seattle)◆東日本大震災で楽器を失った子どもたちに新しい楽器を贈るための資金を募るベネフィット・コンサートが、様々な企業の支援のもと、シアトルのペナロヤ・ホールで開催されました。

◆福島3.11：東日本大震災から1年 (New York)◆ヒューマンライツ・ナウは、3月8日～5月31日、ニューヨーク大学 INSTITUTE OF PUBLIC KNOWLEDGE (IPK) にて、フォトジャーナリストの広河隆一氏、森住卓氏による、歴史的な災害である東日本大震災の写真を展示しています。

◆万灯 Bantou Week (Singapore)◆日本人の交換留学生がオーガナイズし、3月5日から11日にかけて、日本の震災復興をサポートしてくれた世界の人々に感謝の気持ちを伝え、また、日本の文化を知ってもらう趣旨のイベントが行なわれました。

ここでは紹介しきれませんが、他にも大小様々な規模なイベントが行われ、新聞や雑誌にも支援の呼びかけが掲載されています。改めて世界各国の人々の支援に感謝の気持ちが込み上げてきました。(山邊)

～センターからのお知らせ～

☆第5回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレーの報告書をHPにアップしました！

来年度、第6回は10月28日(日)に開催予定です！

★退職・異動などに伴い、情報発信の停止・変更等ございましたら guest1@crc-japan.net までご一報ください。

～センターからのお願い～

☆横浜市西部児童相談所より幻の「全国児童相談所心理判定員セミナー報告書(第16回S63)(第29回H13)」をいただきました！



各機関で眠っている／片付けたいけど行き場がない紀要・記念誌・本など資料がございましたらぜひセンターにご連絡ください。